

8/9

2021



コープみらい

ちばインフォメーション

編集 コープみらい 千葉県本部 参加とネットワーク推進部 TEL:043-301-6684 FAX:043-301-6685 ホームページ コープみらい で検索!

ちばインフォメーションの紙面で募集している催し物、講座のお申し込みの際にお預かりした個人情報は、お申し込みの受付、詳しい資料やご案内の送付、必要なご連絡のために使わせていただきます。

明日への希望を応援しよう!

「とうかつ草の根フードバンク」の活動



品質に問題がないのに廃棄せざるをえない食品を、企業や個人から寄付していただき、必要としている方にお届けしているフードバンク。コープみらいはこの活動を応援し、組合員の皆さんからもたくさんの食品を寄贈していただいています。今回取材した「とうかつ草の根フードバンク」には、子ども食堂を通じた明日への希望につながる支援がありました。

とうかつ草の根フードバンク 子ども食堂を通じてきめの細かい支援をめざす

「とうかつ草の根フードバンク」は、寄贈された食品を子ども食堂を通して、地域で必要としている家庭へ届けるフードバンクです。生活に苦しみ人たちが増える中、東葛地域で食品を融通し合うなど協力して活動をしていた子ども食堂のネットワークが連携して2019年に設立しました。企業からの大量の寄贈品などの食品をまとめて保管する倉庫に、約60カ所の子ども食堂が食品を取りに来るという、全国でも珍しい形のフードバンクです。

子ども食堂は誰でも参加できるコミュニティですが、それ故にさまざまな困難を抱えた子ども達も参加する「地域のよりどころ」となっています。地域に密着した活動をする子ども食堂を通じることで、さらにきめの細かい支援を目指しています。

とうかつ草の根
フードバンク
詳しくはこちらから▼



悩みを抱える子ども達に安心できる居場所を

こがねはら
子ども食堂

仲間とともに「こがねはら子ども食堂」を立ち上げ、とうかつ草の根フードバンクの事務局長も兼ねている高橋さんに伺いました。

以前知り合いから聞いた「学校給食だけで栄養を摂っている子どもがいる。夏休みが終ると痩せて学校に来る」という貧困の現状に大変衝撃を受け、そんな子ども達にお腹いっぱい食べてもらいたいとの思いで子ども食堂を立ち上げました。家庭や友人関係などで悩みを抱える子ども達の居場所、自由に安心して過ごせる場となってほしいと思っています。ここで過ごした子ども達が今では就職し、ふらっと遊びに来てくれます。その成長した姿を見るとうれしくなり、それだけで十分な気持ちになります。



高橋 亮さん

子ども食堂を通じて知る貧困の現状

光ヶ丘
こども食堂

「光ヶ丘こども食堂」のスタッフに伺いました。

人は衣食住が足りてこそ、生きる基礎を得るのではないのでしょうか。その中でも「食」＝「食べることは生命の元」ですね。未来を担う若い人や子ども達が生きづらい現在を少しでも変えていきたいものです。ちょっとしか力になれないかもしれませんが、ゼロよりはいいかな?そんな思いで子ども食堂を開いています。



食事の申し込みのときのやりとりで、厳しい家庭環境や、失業などによる貧困の様子を知ることもあります。子ども食堂の活動を通じて生活の悩みを聴いてあげたり、「あの子はどうしてるかな?」と一人ひとりを気にかけて見守ったり、これからもできることをサポートしていきたいと思っています。



光ヶ丘こども食堂では、コロナ禍により今はお弁当を作って配っています。この日は寄贈されたわかめご飯に「ミックスペジタブル」「ベーコン」「バター」を加えて洋風炊き込みごはんに仕上げました。夕方には順次申し込んだ人がお弁当を取りに来るのでスタッフは大忙し。チームワークも良く次々に出来上がっていきました。



とうかつ草の根フードバンクは、コープ新松戸店と東深井店の2店舗に食品回収ボックスを常設しています。またコープみらいでは、ほかにも千葉県内の6店舗に常設し、積極的にフードバンクに協力しています。

問い合わせ コープみらい千葉県本部 参加とネットワーク推進部 TEL 0120-925-036 9時~17時(土・日・祝日休み)

フードドライブに
ご協力ください
詳しくはこちらから▶

